

孫を訪ねて三千里

旅好きな私がエルサルバドルに行くことを希望したのは、サッカーの亡者からスペイン語に熱を入れた孫がどんな仕事や生活をしているのか見てみたいからでした。



空港に車で迎えに来た彼のきちんとした服装と、優しい笑顔を見てまずは一安心。また、夜には大使館の皆様との食事をする機会もあり、色々な方の人生の歩み方を見ました。彼の住んでいる地域は、仕事場に近い高台の住宅地で、街路樹の街並みはゴミもなく、車の行き来はスピードこそ出ていますがマナーも良いと感じました。車は普通車が多く、あまり歩道を歩く人は見られません。ただ、庶民の交通手段はバスが主体で、軽トラやタクシー、ウーバーも割と多く利用されているそうです。



首都サンサルバドルはすり鉢の形で、底の部分が中心で公共施設や工芸店や商業施設のスーパーがあらゆるところにあり、そこには新鮮なチーズ類や野菜が安価で整然と並び、清潔な店内で、トイレもどこも綺麗でした。

有名なコーヒー園の庭には、日本では見られない色鮮やかな花々、そして小高い山手には コーヒーの木がたくさん栽培されていて、エルサルバドルがコーヒーの輸出に力を入れているのが感じられました。また、高地の山の方には、火山や大きな湖もあり、素晴らしい景色でした。そのため、レストランでは注文が間に合わないほどの人や多くの外国人たちも来ていたので、もう少しお店があっても良いのではないかと思います。



山を越えた太平洋側は、景勝地と美味しい海の幸の食事が取れ、6月には世界中から選手が集まり、サーフィンの地として賑わうとのことでした。

また、彼の友人が夜にはご飯へ連れて行ってくれました。面積は小さいですが、赤道に近いのに23℃前後の気温で、雨季にはスコールがあるというけど潤いがあり、とても住みやすい国

だと思いました。私はメキシコ、ブラジルにも観光と移民50周年で伺いましたが、国は大きくて資源があっても、裏道に入ると不衛生で不安定さが見えましたが、エルサルバドルは中南米の小さな国でも観光を大事にして、美味しいコーヒーと私の好きなプブサもあるので、日本人に人気になるのではないかなと思いました。今のエルサルバドルは、戦いのない落ち着いた街となっているので、とても素敵な旅となりました、まだ詳しい文化は見ていませんので、是非孫と一緒にまた行きたいと思います。

藤田節子（ふじた せつこ）氏

大の旅行好きで世界50か国以上を訪問している旅のプロ。今回、2022年から2年間、在エルサルバドル日本大使館派遣員として活躍中のご令孫に会うために中米初訪問となった。